

単身世帯収支調査（平成11年平均速報）

～ 単身全世帯の家計 ～

消費支出は調査開始以来初の増加

平成11年の単身全世帯（平均年齢49.5歳）の1か月平均消費支出は189,117円で、前年に比べ名目（+）2.6%の増加となった。また、消費者物価（-0.4%）が下落したことから、実質では（+）3.0%の増加となった。

消費支出の実質増加率は、平成8年が（-）2.4%、9年が（-）2.5%と、3年連続の減少となった後、11年は（+）3.0%の増加と、調査開始以来初の増加となった。

平成11年の消費支出を主要費目別にみると、交通・通信（+15.5%）、教養娯楽（+10.0%）、保健医療（+9.2%）、家具・家事用品（+8.5%）が大幅な実質増加となったほか、光熱・水道（+2.9%）、住居（+2.8%）も実質増加となった。

一方、被服及び履物（-8.9%）が大幅な実質減少となったほか、食料（-1.5%）も実質減少となった。（図1、図2）

